

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		施設管理事業				②事業番号		4201	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
						年度		○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令		○ 条例		規則		要綱	
⑦実施手法		直営		全部委託		○ 一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		4		項		1	
⑨担当部名		健康福祉部		⑩担当課名		保健推進課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 泉南市立保健センター		① 泉南市立保健センター		か所	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
保健センター庁舎の空調維持管理、夜間警備、エレベーター管理、清掃等において業務委託をし、維持管理・運営管理を行う。		① 主な事業における施設使用回数		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
保健センターは、乳幼児から高齢者まで利用する健康づくりの拠点施設であり、安心・安全、清潔に維持管理する。		① 主な事業参加人数		人	
		②			
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
安心・安全・清潔に建物内を維持管理することにより、保健センター事業である母子保健事業等を円滑に実施し、母子保健事業等の充実を図る。		政策(章) 2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち			
		施策大(節) 1 子どもと大人が夢や希望を持ち、ともに成長できるまちをめざします			
		施策中 1 子どもと親の健康づくりの推進			
		施策小 1 母子保健事業の充実			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	泉南市立保健センター	か所	1	1	1	1	1	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	主な事業における施設使用回数	回	641	698	741	741	741	
活動指標②								
活動指標③								—
成果指標①	主な事業参加人数	人	15,323	16,059	13,744	13,744	13,744	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.30	0.30	0.30	0.30		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,410	2,409	2,432	2,432		平成28年度は外壁改修工事があり直接事業費が大幅に増加している。
	直接事業費	千円	11,624	8,851	7,562	7,511		
	総事業費	千円	14,034	11,260	9,994	9,943		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	14,034	11,260	9,994	9,943		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	昭和59年4月に保健センターがオープンし、庁舎の維持管理事業を実施している。
②開始から現在までの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	竣工から20年以上経過し、施設の老朽化が進み、メンテナンスが順次必要になる。より安全、清潔な施設の充実を図り、市民が快適に利用できる施設の維持・管理を目指す。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	建物を安心・安全に維持管理することにより、母子保健事業等の充実につながる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市民が利用する市の建物であり、維持管理運営することは、市の責務である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	保健センターは市民の健康づくりの拠点でもあり、市民のニーズに合っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	市民が保健センターを利用できなくなる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	乳幼児健康診査やがん検診など多くの利用者があった。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	長期契約については、今までプロポーザル方式で実施していたが、今後は入札の方式をとり、仕様書を詳細にして、質の高いサービスが提供できるようにを実施していく。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	施設維持管理事業については、受益者負担の考えは適さない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	施設管理事業は保健センターの事業を実施するうえで必要不可欠である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> - 重点化する(集中的なコスト投入) - 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) - 効率化する(コストを下げる) - 簡素化する(規模を縮小する) - 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—